

新図書館複合施設の
基本コンセプト引継ぎを



深山 孝
(彩の会)

問 新図書館複合施設

の見直しを表明してから2年が経つが、上平地区複合施設の進捗状況は。

答 新型コロナウイルス

感染症の影響で、上平地区複合施設検討委員会の進捗に遅れが生じているが、今年度中の基本構想の策定を目指している。

問 見直しとは、これ

まで検討されてきたことを白紙に戻すということか。

答 上平地区複合施設

は、図書館分館機能を持つ複合施設がふさわしいと考え、当初の計画を見直すものである。検討してきた、集う空間、市民のコミュニケーションの場といった

コンセプトなども取り入れていきたい。

問 上平地区複合施設

は、見直しとなった新図書館複合施設の基本コンセプトを引き継ぐべきだと考えるが、見解は。

答 ランニングコスト

の算出などに曖昧な点があったことから、全てのライフサイクルコストなどの経費を明確にした上で、本市の公施設マネジメントと市民ニーズを踏まえ、再検討すべきと考えたことから見直しをしている。これまでのコンセプト全てを否定したものではなく、取り入れべき考え方や方向性は引き続き検討を進め、基本構想がまとまり次第、早急に市民へお知らせしていく。

その他の質問

● 行財政の諸課題